

１ 内政

（１） ２０２１年大統領選挙に向けた動き

ア CID-Gallup 社が全国の計 1,568 名に対し、４日～１３日にかけて実施した世論調査において、これまで下降の一途をたどっていたエルナンデス大統領の評価は、肯定的評価 42%（38%：2019 年 5 月）、否定的評価 50%（54%：同前）となり、いまだ否定的評価が優勢ではあるものの改善が見られた。支持政党に関する調査では、国民党 34%、自由党 12%、リブレ党 11% となり、与党国民党の優位性が継続。他方、42% は「支持政党無し」と回答した。

イ 23 日、オリバ国会議長は、選挙制度改革の関係で予備選挙（各政党内の大統領候補を決定する）を先送りにすべきという見方もある中、従来通り 2021 年 3 月に同選挙を実施する旨明言。

ウ 25 日、カストロ・セラヤ元大統領夫人は、リブレ党の予備選挙への立候補を表明。

（２） 汚職

ア 17 日、OAS は、ホンジュラス対汚職・無処罰ミッション（MACC I H）の任期延長に関する OAS・ホンジュラス政府間の協議が同日付けで終了、両者間で合意に至らず、同ミッションは 19 日をもってホンジュラスでの任務を終了する旨のコミュニケを发出した。MACC I H はこれまで、汚職事案 14 件 133 名を起訴し、当国司法・検察の能力強化に貢献してきた。

イ 24 日、検察庁は、MACC I H の任期終了を受けて解体された対汚職・無処罰検察特別ユニット（UFEC I C）の後継組織となる、対汚職検察特別ユニット（UFERCO）の創設を発表した。UFERCO は、UFEC I C の調査中の案件を引き継ぎ、国際社会の直接の関与はなくなったが基本的に同様の機能を持つ。

ウ 24 日付当地主要紙ラ・トリブナは、国際 NGO トランスペアレンシー・インターナショナルが 23 日付で公表した 2019 年度「腐敗認識指数（CPI）」によると、ホンジュラスは前年度からランキングを 14 位落として 146 位／180 か国となり、米大陸ではベネズエラ（173 位）、ハイチ（168 位）及びニカラグア（161 位）に次いで、グアテマラと同率でワースト 4 である旨報じる。

（３） 移民

15 日、米国を目指す約 2,000 人規模の新たな移民キャラバンが当国北西部サンペドロスーラ市を出発し、コルテス県コリント国境及びオコテペケ県アグアカリエンテ国境からグアテマラに入国した。23 日、同キャラバン参加者のうち、メキシコから 624 人及びグアテマラから 51 人がホンジュラスに送還され、合計 1,764 人が同日までにホンジュラスに戻った。

(4) その他

8日付当国主要各紙は、17日に予定されていたトニー・エルナンデス被告人（エルナンデス大統領実弟）への量刑言渡しが、2月24日に延期された旨報じる。

2 外交

- (1) 8日及び9日、エルナンデス大統領は当国訪問中のウォルフ米国土安全保障長官代行と会談し、2019年9月にホンジュラスと米国が締結した、経済的機会、国境警備、移民保護及び生体認証情報の相互交換等に関する協力協定の実施促進について協議した。
- (2) 14～15日、鈴木外務副大臣はホンジュラスを公式訪問し、二国間関係を一層強化していくことを目的として、アルバラド副大統領への表敬訪問、ロサレス外務・国際協力大臣との会談等を実施した。
- (3) 14日、グアテマラ大統領就任式のため同国を訪問したエルナンデス大統領は、ジャマティ同国新大統領、呉台湾外交部長、チャド・ウォルフ米国土安全保障長官代行及びアダム・ボーラー米国国際開発金融公社（DFC）CEOと合同で会談を実施し、グアテマラとホンジュラスにまたがる経済特区や国境地帯における雇用創出のためのプロジェクトを策定すべく、ワシントンで常時議論するための枠組を設けることで一致した。
- (4) 14日、ロサレス外務・国際協力大臣は訪問中のグアテマラで、在グアテマラ・イスラエル大使と、ホンジュラス・イスラエル間の政策協議メカニズムの設置及び農業、教育、保健分野の支援に関する協力協定2件に署名した。
- (5) 20日、ホンジュラス政府は、ヒズボラをテロ組織に指定した旨発表した。

3 経済

- (1) 2日、当國中銀は、2019年の米国等からの海外送金額は、前年比13%増となる約56億ドルであった旨発表。
- (2) 5日、当国財務省は、2019年末に公的債務は約121億ドルとなり、前年から6億9,200万ドル増加した旨発表。
- (3) 7日、大統領府は、財政危機が深刻なエネルギー公社（ENEE）への介入を決定した旨の文書を公表した。10日、グスマン歳入管理庁（SAR）長官ほか2名は、カルドナ大統領府官房長官立会いの下で就任宣誓を行い、これにより介入委員会が発足。デラスENEE総裁及びENEE理事会の職務は停止された。
- (4) 14日付当地主要紙ラ・トリブナは、2017年6月にホンジュラス・グアテマラ間の税関統合の取組が開始されて以降、両国間の貿易は活発化され、二国間貿易額は2018年に9.7億ドル、2019年1～11月に8.5億ドルに達し、また、税関統合の開始とともに導入された両国共通の税関申告書FYDUA（Factura y Declaración Única Centroamericana）の使用率は、2018年は35%、2019年は42%であった旨の中米経済統合事務局（SIECA）の発表につき報じる。

- (5) 23日付当地主要紙エル・エラルドは、E N E Eが民間発電業者に滞納している支払額は、2019年末までに4億ドルに達した旨報じる。
- (6) 30日、国立統計院（I N E）は、世銀及びI D Bの支援を受けて、1978年から使用してきた貧困率算定方法の見直しを行った結果、当国貧困率は61.9%から48.3%に減少する旨発表した。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2020 年	2019 年			2019 年	2018 年
	1月	12月	11月	10月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	4.08%	3.84%	4.08%	4.08%	4.22%
貿易収支(百万ドル)	—	未発表	—	—	未発表	△3,530.6
輸出(百万ドル)	—	未発表	—	—	未発表	8,669.3
輸入(百万ドル)	—	未発表	—	—	未発表	12,200.0
外貨準備高（百万ドル）	5,764.0	5,808.9	5,124.0	5,137.6	5,808.9	4,853.1
外国からの送金（百万ドル）	—	5,546.1	—	—	5,546.1	4,759.9
為替レート（対ドル月平均）	24.82	24.81	24.80	24.80	24.68	24.07

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表

（了）